

この度、大阪大学次期総長候補者に選ばれましたこと、身に余る光栄であるとともに、その責任の重大さに身が引き締まる思いでございます。

現在わが国は戦後最大の危機に直面しています。大学もまたきわめて厳しい状況にあります。このような時代において、魔法のような素晴らしい解決法はございません。困難な時ほど、基本に立ち戻る必要があります。では、大学の基本とは何でしょうか？それは大学は「学問と教育の府である」と言うごく当たり前の事だと思います。

「国家100年の計は教育にあり」と言われておりますように、我が国の将来は、ひとえに人材育成にあります。また我が国が存続して行くためには、学術や技術開発の振興が不可欠であります。大学は、将来各方面で指導的立場に立ち、人類の福祉と繁栄に寄与できる次代の優秀な人材を育て、世に送り出すという使命を担っています。

また、学術の振興なくして革新的な技術開発や、心豊かで平和な社会の発展はありえず、社会が大学に求めているところは、知的創造活動としての基礎的学術研究の推進であります。大学がどれほど基礎的学術研究に力を注いでいるかは、その大学の底力に反映されると思います。流行に流されることなく、永続性を有し、かつ卓越した“学問の府”であり続ける基盤を確立する努力をして行く所存でございます。

さらに、日本における教育・研究のあり方を、ただ受け身に処するのではなく、これまで以上に大学としての立場から、国や社会に対して積極的に提言・実践していくことこそが大学に課せられた責務であると思います。大学は「学問と教育の府である」という立場から、我が国はもとより、世界の人類の発展と福祉に貢献して行きたいと思っております。

「天の時、地の利、人の和」という言葉がございます。今、この時、この大阪で、「世界をリードする学問と教育の世界的拠点となる」という高い志をもって、21世紀はもちろんのこと、22世紀においても輝き続ける大阪大学の基盤を、大学構成員全員の皆様の英知と力をあわせて築いて行く覚悟でございます。

皆様のご理解とご声援、そしてご鞭撻を心からお願い申し上げる次第でございます。

平成23年6月10日

平野俊夫